

<b>奈良市食育推進会議</b>		
開催日時	平成26年1月23日（木）午後2時から午後4時まで	
開催場所	はぐくみセンター 9階 9-1会議室	
議 題	1 第2次食育推進計画（素案）について 2 第2次食育推進計画（素案）の重点プロジェクトと 平成26年度の取り組みについて 3 今後のスケジュールについて	
出席者	委 員	出席委員9人（欠席委員1人）
	事務局	8人
開催形態	公開（傍聴人1名）	
担当課	保健所保健総務課	
<b>議事の内容</b>		
<b>〔質疑・意見の要旨〕</b>		
1 第2次食育推進計画（素案）について		
事務局	理念を「『食』を通じて健全な心とからだを培い、健康で豊かな生活が送れるまちづくり」、基本方針を「食でつながる『ひと』と『まち』健やかなからだめばえる感謝の心」を提示	
委員	「めばえる」という言葉は自然発生的なので、「育てる」など別の言葉にした方がいいのではないか。	
委員	目標値「4. 安全・安心」について、安全・安心情報の正確性によって左右される。個人の目標（理想）とするのは少し疑問を感じる。	
委員	取組みのポイントで、保護者ができることに、「いのち」とのかかわりを子どもに教えることを入れてはどうか。感謝の心を育てるにあたり大切。	
委員	目標に、「命をおいしくいただける」という表記があるが少し違和感がある。「ありがたく」などにかえてはどうか。	
委員	取組みポイントの歯に関する部分が、乳幼児期・学童期・思春期で同じ文面、また青年期・中年期・高齢期でも同じ文面。それぞれの達成度は違うので表現を変える必要があると思う。歯みがきの方法は学童期くらいに身につけるものかなと思う。 歯に関してここまで重点的に記載しなければならない理由があるのかを事務局に聞きたい。	

事務局	必ずというわけではないが、歯は失うと二度と得ることができない。食において重要なことと考えて、現在の案になった。ただ、全体のバランスをみて表現については整理が必要と思う。
委員	いくつか「自分に合った」という表現があるが、違和感を感じる。
2 第2次食育推進計画（素案）の重点プロジェクトと平成26年度の取り組みについて	
委員	重点プロジェクト「体験」について、共食の経験・体験というのが位置づけがわからない。なにか取り組み予定があるのか。
事務局	取り組みというよりは、本計画ならびに各事業を通じて、市民が「共に食べる」ということの大切さを感じて、その機会をもつように促すことを意図している。
委員	独居の高齢者など、孤食になりがちな人に共食の場を提供するというのをコープなどでされていたりする。そういったイメージではないか。ただ、この素案ではわかりにくい。
委員	仕方なく孤食・個食になってしまっている人たちがいる。そういった人たちを行政がサポートする必要がある。しかし、子どもについては、家庭環境などでやむをえず孤食・個食になっているケースがあり、しっかり方法を考えないと逆効果になりかねない。 イベント等でなんとかできるものではなく、継続的にサポートすることが必要。
委員	体験は市民に体験してもらうこと。農業体験などは、個人ではできないので、その環境も必要となる。学校単位でしているところはあるが、成人すると体験することがない。
委員	重点プロジェクトというのは行政がとりくむための重点か。また、行政事業一覧をみると、1，2にかたよりすぎてバランスがわるくないか。
事務局	行政事業一覧は現在実施しており、今後も実施予定のものを掲載している。
委員	そうすると、現在の行政事業は1，2にかたよっているという現状があるということかと思う。

委員 現場にいと目標に達していないことを実感する。そのうえで大切なのは知ってもらうということ。行政が行っていることはほんの一部、横のつながりを深めていかなければならない。

委員 スライドで説明のあった「個人や食育の取組み」を市が発信することが、「横のつながり」にあたるのかと思う。これを具体化していくことが広めることになるのかと思う。知ってもらう取組みというのは単に啓発という切り口ではなく、そういった取組み自体を広めるという視点があるのではないか。

委員 JAなども体験事業を行っているが、広く市民に周知できていない部分もあるので、一体となって広めていけたらいいと思う。

委員 なにか食育の事業をしようというときに、どの団体でどういうことをしているかがわかればいいと思う。

委員 タネがあり、畑があり、人がいて、食につながるということを教えていくべき。広く、熱く伝えるということはそういうことだと思う。食育というのはイベントを広くということではないと思う。

委員 情報はどこかで一括すべきと思う。市がどのように集めるか。実際に市でそのような発信をしていこうという考えはあるか。

事務局 積極的に情報発信をしていきたいと考えている。  
スライドにある「食育ネットワークづくり」というのが、それにあたる。

委員 来年度実施を計画している「やまとの和食」シンポジウムについて、おん祭りにおいて奈良のっぺのように、行事と食という切り口から実施すると、奈良の人にとって興味深いものになるのではないか。さらに地域の産物とも関連させると、単なる和食でなく「やまとの和食」というテーマにつながるのではないか。

委員 生産者の立場から言わせていただくと、さらに「旬」ということも扱っていただければと思う。

委員 食育フォトコンテストは保健所でしか募集しないのか。

事務局	もちろん広く募集したいので、みなさまにもご協力願いたい。
委員	コープでもさまざまなテーマでフォトコンテストを実施しているが、多くの人が参加してくれている。
委員	なにかテーマを設定したほうがいい。
委員	すこやかフェスタについて、野菜の販売など面白そうな企画があればいいなと思う。
委員	奈良市農業研究会連合会として今週末、この建物で直売を行う。また、定期的に、ほぼ毎週どこかが実施している。お声かけていただくのも一つの方法と思う。
委員	直売等は積極的に情報発信していければいい。
委員	来年度事業としては、食育ネットワークづくりが最重要となってくると思う。ほかに思いついたことがあれば事務局へおっしゃっていただきたい。
3 3	今後のスケジュールについて
	事務局から説明